

# ギャンブル依存症対策を推進

大谷翔平選手の元通訳の事件で今また注目を集めるギャンブル依存症。厚生労働省の推計(2021年)によると国内の18~74歳でパチンコや公営競技などの依存症が疑われる人は2.2%(約196万人)に上ります。

ギャンブル依存症は世界保健機関(WHO)が認定している精神疾患で、治療は医療保険の適用対象です。県は今年、ギャンブル等依存症対策推進計画を改定。公明党県議団はこれからも依存症患者を適切な医療や支援につなげる取組を推進します。

神奈川県議会議員

HPへ▶



# おのぞら

慎一郎

しんいちろう

